

クライミングジムで人工の壁登りの練習をする大政涼さん(左)と高村佳吾さん(撮影・在間直行)



東温高山岳

リードVへ着実に力

昨年の福井国体山岳競技少年男子で、他校生と出場し到達高度を競うリードで優勝した東温高2年大政涼さん(17)が、今年は同じ高校の3年高村佳吾さん(18)とのペアで全国の舞台に挑む。2人はリードでの連覇、完登数を競うボルダリングで決勝進出を目指し練習に励んでいる。

四国予選では、2種目ともに2人で圧倒的な勝利を収めた。国体出場は高村さんが中学時代を含め3度目、大政さんは昨年に続き2度目。昨年11月には、大政さんが中国・重慶で開催されたIFSCクライングアジアユース選手権のリードで3位入賞するなど、着実に力をつけている。

高村さんは今回が高校生活最後の試合になる。「悔いのないよう良い結果を残したい」。大政さんは「納得できる登りをしたい。得意のリードは頂点を狙う」と、表情を引き締めた。

(石田心美、在間直行、新田翔大、吉岡遼翔、佐伯大翔)



「発信！高校生記者」えひめ愛媛スポーツ

もっと！
新聞
キャンペーン

愛媛新聞社が展開する「もっと！新聞キャンペーン」の一環として、新聞キャンペーンを推進する愛媛県との連携企画、講師(記者経験者)を各高校に派遣して高校生記者を養成し、取材活動を実施する。取材成果は愛媛新聞紙上などで紹介。活動の様子はホームページ愛媛新聞ONLINEで公開中。

東温高報道部

山岳競技のスポーツクライミングの魅力を知ることができ、2人のスポーツクライミングへの思いが伝わった。国体での活躍を心から応援したい。(1)